

## 平成 25 年度 市民意識調査反映状況

	調査名（実施課）	反 映 状 況
1	市民満足度調査 （企画課・広報課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民満足度調査の設問は「まちみがき戦略推進プラン」や「第2次静岡市総合計画」に基づく本市政に対する市民満足度を測る項目であるため、市政運営（毎年度の重点政策の策定、第3次静岡市総合計画の策定等）の指標として活用した。</li> </ul>
2	「（仮称）上下水道ビジョン」について （水道企画課・下水道総務課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業、下水道事業の「優先順位」や、「知りたい情報」に関する回答結果から、上下水道事業の将来構想である『しずおか水ビジョン「（仮称）上下水道ビジョンから名称変更」』の政策の検討や、事務事業の優先順位付けの参考とし、ビジョン策定に活用した。</li> </ul>
3	文化拠点施設（静岡市民文化会館）の今後について （文化振興課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市民文化会館にソフト面で期待することについて調査したところ、「市民が気軽に参加できる文化活動のワークショップや講演会の開催」が45.2%と最も多かったことから、平成26年度は、市民参加型の事業（ダンス公演、ワークショップ、講演会など）を6本計画し、引き続き市民が気軽に文化活動に参加できる機会の提供に努めていく。また、「市民への催事情報の広報拡充」が44.3%と次いで多かったことから、平成26年1月から施設のFacebookページの運用を開始したほか、既存のホームページ、広報紙、掲示版を活用し、さらに積極的な広報を実施していく。</li> <li>・静岡市民文化会館にハード面で期待することとして、「人気の高いオーケストラやアーティストのコンサート等に対応できる客席をもったホールの整備」（41.4%）や、「誰もが利用しやすいバリアフリー環境の整備」（38.7%）の回答が多かった。こうした意見とあわせて、平成26年4月に策定した市の「アセットマネジメント基本方針」に基づき、静岡市民文化会館のあり方及び施設の再整備方針を検討していく。</li> </ul>
4	中心市街地活性化について （商業労政課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が望む中心市街地について調査したところ、静岡地区・清水地区ともに「魅力的なお店があり、サービス精神あふれる街」（静岡27.0%、清水22.4%）が最も多く、次いで「歩ける範囲に暮らしに必要な施設や機能が整っている街」（静岡22.7%、清水16.8%）の回答が多かったため、平成27年度を始期とする中心市街地活性化基本計画においては、商業機能の強化や、徒歩回遊性の向上、都市福祉施設の整備等の推進を図ることを検討している。</li> </ul>
5	静岡市議会議員選挙について （選挙管理委員会事務局）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市議会議員選挙を知ったのは「テレビ・ラジオ」が63.5%と最も高く、また、選挙があること自体を知らなかったという回答が2.1%あったことから、平成27年4月執行予定の統一地方選挙に向けて、選挙時啓発（テレビ・ラジオを使った啓発）を重点的に実施した。</li> <li>・選挙に行かなかった理由として「仕事が忙しかったから」という回答が約18%あったことから、企業等に対し選挙に対する理解を深めるため、投票行動環境の改善について協力を依頼する予定である。</li> </ul>